

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(有効性評価 7.2.1.1 雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損))

| ID | No | コメント内容 | ヒアリング日 | 対応状況* | 回答完了日 | 回答概要 | 資料反映箇所 | 積み残し事項の回答予定時期 |
|-----------|----|---|--------|-------|------------------|--|--|---------------|
| 230207-17 | 1 | 比較表30ページ) CORA実験においてPWRの燃料を対象に実施しているものについて、記載の必要性について検討し、説明すること。 | R5.2.7 | 回答済 | R5.3.1 ヒアリング | BWRは特有の制御棒ブレードやチャンネルボックスが炉内にあるため、炉心ヒートアップの妥当性確認としてそれらを模擬した燃料体系でのCORA実験についても参照していると理解しており、一方PWRは、実機PWRで発生したTMI事故の再現解析にて妥当性を確認している。よって、CORA実験での妥当性確認までは必須ではないと認識しています。 | — | |
| 230207-20 | 2 | 添7.2.1.1.3-2ページ) 最高使用圧力に到達する時間の大飯との相違について、相違理由を説明すること。 | R5.2.7 | 回答済 | R5.3.1 ヒアリング | 最高使用圧力に到達する時間の相違は主にCVの型式によるものです。大飯のCV型式はPCCVであるためCV内のヒートシンクの効果が大きく、圧力上昇が緩慢となり最高使用圧力到達が泊に比べて遅くなります。 | 第461回ヒアリング 資料1-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.6.0)』 p.添7.2.1.1.3-2 | |
| 230301-08 | 3 | 比較表 添7.2.1.1.1-2~4) 大飯に記載のない記述や図について、先行実績があるならその旨を示すこと。 | R5.3.1 | 回答済 | R5.4.25 ヒアリング | 先行実績を確認した結果、以下の通り修正しました。 ・(4)の記載の削除 ・添付1の相違理由に玄海と同様の旨追記 ・添付3のエリアモニタの図を大飯に合わせる形に修正 | 第504回ヒアリング 資料3-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)』 p.添7.2.1.1.1-6 第504回ヒアリング 資料3-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)』 p.添7.2.1.1.1-3, 4, 6 | |
| 230301-10 | 4 | 解析コードの不確かさにおけるBWRでのCSTF、PHEBUS-FP、ABCOVEの記載について、PWRでの記載の必要性の有無、またその理由を整理して説明すること。 | R5.3.1 | 回答済 | R5.4.25 ヒアリング | BWRの記載を確認し、PWRにおいてもこれらの実験解析の記載を追加した方が適切と判断し追記しました。 | 第504回ヒアリング 資料3-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P r.8.0)』 p.7.2.1.1-22~27 ■添付資料7.2.1.1.23 第504回ヒアリング 資料3-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.1 格納容器過圧破損 (SAE721P-9 r.7.0)』 p.31~38 ■添付資料7.2.1.1.23 | |

*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。